

## 日本ウマ科学会 2019 年度理事会 議事録

日時 : 2018 年 12 月 3 日 12 時 10 分から 13 時 00 分

場所 : KFC Hall & Rooms : Room 101-102

出席者: 会長 青木 修  
副会長 田谷一善・田嶋義男  
常任理事 近藤高志・半澤 恵・楠瀬 良・石田信繁・桑原正貴・和田隆一・  
佐々木直樹  
理事 間 弘子・天谷友彦・河合正人・川嶋 舟・黒澤雅彦・小玉剛資・  
近藤誠司・中西信吾・平賀 敦  
監事 岩崎幸治・末崎真澄  
事務局 太田 稔

近藤庶務担当常任理事による開会の辞に続き、会則第 20 条に基づき青木会長が議長となり、理事 19 名（委任状 1 名）の出席により本理事会が成立したことを宣言、2019 年度理事会が開催された。なお、議事録署名人に間・黒澤両理事を指名した。

また、本理事会に併せて、評議員 14 名参加の下で評議員会も開催された。

議題ⅠおよびⅡが一括上程された。

議題Ⅰ 2018 年度事業報告（案）について

近藤庶務担当常任理事より資料に基づき説明があった。

議題Ⅱ 2018 年度収支決算（案）について

半澤庶務担当常任理事より資料に基づき説明があった。主な点は以下の通り。

- 正会員数および賛助会員数はほぼ横ばいで、会費収入もほぼ予算額どおりであった。
- 学術集会の参加者数が予想を大幅に上回ったため、参加費収入も予算額を上回った。
- 表彰特別会計の残高（726,547 円）を全額一般会計に繰戻し、口座は解約した。
- 事務作業のさらなる簡略化により、アルバイトの人件費が減少した。
- 学術誌の出版刊行費は 7,162,983 円（同 127.2%）と予算額を大幅に上回った。これまで次年度会計に先送りとなっていた 9 月号分を年度内に支払ったため、2018 年度は計 5 号分を支払ったことによる。
- 第 30 回学術集会の会場基本使用料（731,808 円）は、昨年度（2017 年度）会計から前払い済み。
- 国際交流促進事業（海外渡航支援）への応募はなかった。一方、WEVA（世界馬獣医師会議）から招待状が届いたため、桑原国際担当常任理事を派遣した。

次いで、監査報告が行われ、岩崎監事から 2018 年 11 月 12 日に業務監査した結果、事業が適正に運営されている旨の報告がなされた。

その後、議題ⅠとⅡは原案通り承認され、定時総会に上程することとなった。

議題ⅢとⅣが一括上程された。

議題Ⅲ 2019年度事業計画（案）について

近藤庶務担当常任理事より資料に基づき説明があった。

議題Ⅳ 2019年度収支予算（案）について

半澤庶務担当常任理事より資料に基づき説明があった。主な点は以下の通り。

- 学会会計を一般会計に一本化することを目的に、国際特別会計の残高の全額を一般会計に繰り戻し、口座は解約する。これに伴い、新たに一般会計に「国際事業費支出」を計上する。
- 同様に、臨床特別会計の残高の一部を一般会計に繰り戻す。これに伴い、新たに一般会計に「企業展示収入」と「臨床委員会事業費支出」を計上する。また、現在準備中の「認定馬臨床獣医師制度」が正式に承認された段階で、臨床特別会計の口座を解約し、残額を「認定馬臨床獣医師制度準備金」に当てる。当該制度は、これを原資に学会会計からは独立して運営する予定。
- 現在の学会HPはJRA総研のサーバーを借用しているが、JRA総研のサーバーの整理縮小に伴い、ここから離脱し、外部サーバーに移行する予定。この費用を広報費に計上している。
- 2019年度より学術集会の会場使用料は事後一括精算となるため、当該年度内での支払いとなる。
- 臨床委員会主催のセミナーに外国人講師を2名招聘するため、講師交通費が例年よりも大幅増となっている。

議題Ⅴ 学会賞、奨励賞、功労賞の選考結果について

近藤庶務担当常任理事より、学会賞に高橋敏之会員、奨励賞に滄木孝弘会員、功労賞に田上正明会員が選考され、事前の臨時理事会で承認されたとの報告があった。

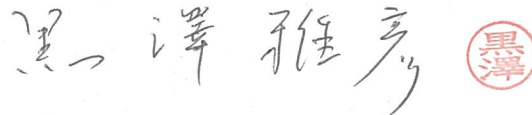

以上、議事の顛末を記録し、これを証するため署名押印する。

2018年12月5日

議長

議事録署名人

議事録署名人